

ABEST21 eNEWS June 2009, No.11

ABEST21 理事長報告

=====

この6月号より、「理事長報告」をすることにいたしましたので、宜しくお願いいたします。

伊藤文雄

- 1) AACSBはシンガポールにアジア事務所を2009年6月4日に開設することになり、その開所式に出席することになりました。会長のJohn Fernandes氏とABEST21がEFMDと提携した同様の連携について話し合うこととなりました。
- 2) 翌日の2009年6月5日にはマレーシアのKuala Lumpurでマネジメント科学大学学長と同大学ビジネススクールのABEST21認証評価受審の審査体制について打ち合わせることになりました。
- 3) また、6月22日には中国・瀋陽市に位置する東北大学工商管理学院（ビジネススクール）でABEST21認証評価の説明を行うこととなりました。
- 4) 6月12日、2008年度評議委員会をレイケイ南青山ビル会議室Aで開催し、ABEST21「2008年度自己点検評価」についての第三者評価を受けることとなりました。評議委員会は毎年ABEST21の自己点検評価の第三者評価をすることとなっています。

ABEST21 認証評価ニュース-11

=====

2008年度認証評価結果において得た経験知に基づいて、2009年度認証評価に向けての改善点について専門審査委員会懇談会を、2009年5月24日、レイケイ南青山ビル会議室Aで開催し、下記の改善課題について意見交換をしました。

1. 評価基準の一部改正について
2. 日本コードの作成について
3. マレーシア・コードの作成について
4. 専門審査委員会の審議事項について
5. 評価プロセスの一部改正について
6. 「認証評価計画」と「自己点検評価報告」のPeer Review Teamsについて
7. 認証評価の手引の一部改正について

2009年10月開催予定の専門審査委員会、認証評価委員会及びABEST21理事会において、上記の改善事項について審議し改正していくこととしました。

ABEST21 ニュース

=====

ABEST21では、文部科学省の委託事業の一環として行った「ビジネススクールの教育に対する企業のニーズ」についての国際アンケート調査の結果をいかに現実に反映させるか「ABEST21経営委員会」（委員長、椿 広計筑波大学教授）で検討した結果、マネジメント力に優れた人材育成を目指し、「ABEST21 マネジメントセミナー」を開催することになりました。第1回目は「新事業とイノベーション」と題し、不況の先の回復期に必要な跳躍力を蓄えていくために、イノベーションによる新たなビジネスモデルの構築や競争戦略の策定に焦点を当て、最近の企業の新事業の成功・失敗事例をもとに、討論方式によるニュービジネスの戦略的な構築方法の習得を目指します。講師に青山学院大学大学院青山ビジネススクールの前田昇教授をお迎えします。

- ・ 期 間：8月8日、15日、22日、29日（全4日、16回）
- ・ 授業時間：1) 09:00~10:25 2) 10:35~12:00 3) 13:30~14:55 4) 15:05~16:30
- ・ 対 象：企業等組織に勤務する中堅スタッフ及び若手管理者層等
- ・ 修了書の授与：全16回のセミナーに出席した者に修了書の授与
- ・ 会 場：当法人ビル内セミナールーム
- ・ 募集人数：30名

・セミナー費：5万円（全16回のセミナー費と昼食代を含む）

お申込は、6月1日（月）～7月15日（水）までに ABEST21 事務局 鈴木までお願いします。

電話：03-3498-6220 E-Mail: abest21@abest21.org

先着順で定員になり次第締め切ります。詳細については ABEST21 ホームページ

<http://www.abest21.org/jpn/conference/2009-1seminar/index.html> をご参照ください。

〈会員校ニュース〉

ソウル国立大学のジャパントゥアー

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科 高橋文郎研究科長

2009年5月12日（火）と13日（水）に ABEST21 の会員校のソウル国立大学 MBA 学生 35 名が同じく会員校の青山ビジネススクール（青山学院大学大学院国際マネジメント研究科、以下 ABS）を訪問し、前田昇教授、中野勉教授の講義を受けました。

前田教授は、「Japan Inc. and SONY's Business Strategy」の演題で日本の産業や日本を代表する企業であるソニーが次の時代への大きな変局点をどう乗り切ろうとしているのかについて講義を行いました。「イノベーションのジレンマ」「オープンイノベーション」「コーポレートベンチャリング」等の論理をベースに太陽電池ビジネスや液晶 TV、コンピュータゲーム等の事例、また P&G、GE 等の海外大企業や、サンテックパワー、VIZIO 等の海外ベンチャー企業との競争事例を示しながら 3 時間の講義と活発な質問を取り交えた有意義な時間を過ごし、最後には韓国の産業の進むべき展望を話し合いました。

中野教授は、「The Global Financial Crisis and the Japanese Management」の演題で、2008 年 10 月の世界金融危機が起きて以来、半年間に亘り日本企業のマネジメントがどのように対応してきたのかについて、ディスカッションを交えて 2 時間の講義を行いました。まず初めに、受講生が現在の日本のビジネスに関して興味を持っている質問を 10 個ほど挙げてもらい、それらに答える形で双方向での講義を行いました。具体的には、マクロ経済指標を概観し、その日本経済への影響の大きさを確認した後、未曾有の世界的な経済危機と言われる大波の中で、金融、自動車、家電、工作機械、小売、エンタテインメント部門について、具体的な企業の事例を示しながら国内及びグローバルなレベルでのさまざまな日本企業のマネジメントによる対応を紹介し、その底流にある大きな流れとその意味を説明しました。また、問題が山積する中でも日本経済の将来への期待として、既に成長しつつあるエネルギー・ビジネス、環境関連、文化産業などの新たな動向を説明しながら討論しました。また、韓国企業の対応についても広く意見を求め、将来の協力関係の可能性について言及するなど、非常に有意義な楽しい時間を共有することができました。

ソウル国立大学ビジネススクールの学生は、5月10日～14日の日程で来日し、野村証券、KDDI 株式会社、日本通運株式会社、東京エレクトロン株式会社への企業訪問も行いました。



以上